

教科名	保健体育	単位数	2単位	担当者	盛田光則・竹内雄史・宮園慎一 井上 篤・佐藤清彦
科目名	体育	年次	2年次		
使用教科書 副教材等					
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）					
<p>・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができる。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>					
2 学習の評価（評価基準と評価方法）					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。競技中の状況を認識し、必要な技能を発揮している。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードの内容</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・ゲームを通じた技能の観察</li> <li>・記録会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードの内容</li> <li>・競技中の思考力、判断力の観察</li> <li>・リフレクションシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習カードの内容</li> </ul>		
占 め る 割 合	50%	25%	25%		
3 学習の目標と振り返り					
	<目 標> ～何ができるようになりたいか具体的に～		<振り返り> ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	<p>1. 体づくり運動 新体力テスト含む ※体づくり運動の行い方を理解することができる。</p> <p>2. 陸上競技 ・ハードル走(男子) ・走り幅跳び(女子) ・持久走 1500m(男子) 1000m(女子) ※自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできる。</p> <p>3. 球技 ・バレーボール(男子) ・バスケットボール(女子) ※集団的スキルや個人的スキルを発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。 ※自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができる</p> <p>4. 球技 ・サッカー(男子) ・ソフトボール(女子) ※集団的スキルや個人的スキルを発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。 ※自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができる</p>	○  ◎  ◎  ◎	○  ○  ○  ○	○  ○  ○  ○	<p>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する (a, b, c)。</p> <p>・ハードルを低く素早く越えながらインターバルをリズムカルにスピードを維持して走り、タイムを短縮したり競走したりすることができる。 (a, b, c)</p> <p>・助走から踏切までの動作をスムーズに行うことができるようにする。 (a, b, c)</p> <p>・自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりする。 (a, b, c)</p> <p>・レシーブ、トス、スパイク、サーブという基礎的なスキルを身につけ、3段攻撃を意識したゲームの中で、互いに協力してそのスキルを発揮することができる。 (a, b, c)</p> <p>・パス、ドリブル、シュートという基礎的なスキルを身につけ、オフense・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力してそのスキルをゲームで発揮することができる。 (a, b, c)</p> <p>・ボールを蹴る、止める、運ぶ(ドリブル)、という基礎的なスキルを身につけ、オフense・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力してそのスキルをゲームで発揮することができる。 (a, b, c)</p> <p>・スローイング、キャッチング、バッティング、という基礎的なスキルを身につけ、ルールを理解しながら互いに協力して、ゲームの中でそのスキルを発揮することができる。 (a, b, c)</p>	<p>行動観察 学習カード リフレクションシート スキルテスト 記録会</p>

後期	<p>5. 球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール(男子)</li> <li>・サッカー(女子)</li> </ul> <p>※集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>※自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができる</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローイング、キャッチング、バッティング、という基礎的な技能を身につけ、ルールを理解しながら互いに協力して、ゲームの中でその技術を発揮することができる。(a, b, c)</li> <li>・ボールを蹴る、止める、運ぶ(ドリブル)、という基礎的な技能を身につけ、オフense・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力してその技術をゲームで発揮することができる。(a, b, c)</li> </ul>
	<p>6. 球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール(男子)</li> <li>・バレーボール(女子)</li> </ul> <p>※集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>※自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができる</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パス、ドリブル、シュートという基礎的な技能を身につけ、オフense・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力してその技術をゲームで発揮することができる。(a, b, c)</li> <li>・レシーブ、トス、スパイク、サーブという基礎的な技能を身につけ、3段攻撃を意識したゲームの中で、互いに協力してその技術を発揮することができる。(a, b, c)</li> </ul>
	<p>7. 選択 I</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道</li> <li>・跳び箱</li> </ul> <p>※各種目の特性に応じた課題を見つけ、その競技の楽しさや喜びを感じることができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受身や、投げ技、押さえ込み技の「かかり練習」を通して様々な技を身につけ、崩しから掛けるという一連の動作を身につけることができる。(a, b, c)</li> <li>・切り返し(反転)系、回転系の基礎的な技能を身につけた後、自己の能力に応じて、さらに発展した技能を身につけ、それらを組み合わせた演技ができるようにする。(a, b, c)</li> </ul>
	<p>7. 体育理論</p> <p>※運動やスポーツの学び方について考え、理解することができる。</p>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。</li> </ul>